

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	アメリカ
派遣大学	ソノマ州立大学		
期間	2022年 8月 16日～ 2023年 5月 19日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	○学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ( )					
部屋	個室 / ○2人部屋 / 3人部屋 / その他( 2人部屋に1人で住んでいま した。 )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 ( 約 13万 ) 円					*1ヶ月あたりの寮費や家賃
移動	( 徒歩 ) で、約 ( 10 ) 分					*大学までの所要時間と移動方法

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	3-4万円	一度の買い物で70ドル×月4、5回
学用品購入費	2-3円	新学期頭の教科書購入・レンタル時のみ
交通費	0円	地域内はバスが無料でした。
交際費	2-3万円	週末の外食など
その他	円	

合計

10万円

\*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学周辺地域は基本的に治安の安定した地域でした。地元に住んでいる人も治安がいいと言っており、ホームステイをしていた友人は学外から徒歩で通学したり、夜に歩いて帰宅したりすることもありました。夜には騒がしくなることもなく、静かでとても落ち着いたところでした。危険地域と呼ばれるようなところはありませんでしたが、ホームレスのための居住エリアなどがありました。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 (AIG 損保 留学生保険 )		
加入期間	( 10 ) ヶ月間	保険料	( 267, 820 ) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	trunstpilot		
加入期間	( 10 ) ヶ月間	保険料	( \$281.16 )

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 ( **ローナートパーク、ソノマ郡** )

ワインの生産が有名な地域です。ワイン以外にも畜産が有名で学校の周りには牧場と葡萄畑が広がっていました。車で 20 分ほどの距離には街が 3 つくらいあるので買い物や娯楽も十分にあります。ソノマの古い街へは車で 3、40 分かかります。ID を見せるとバスはタダになりますが、時間がかかるので車がないと少し不便です。歩いて行ける距離にはコンビニやマクドナルド、スターバックスなど基本的小店が揃っていたので緊急時にもそこまで困ることはありません。また、サンフランシスコへは車で約 1 時間と近く、通勤している人も多く見掛けられました。カリフォルニアの州都であるサクラメントへも車で 1 時間程と、大きな都市へのアクセスも抜群な地域です。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	ソノマ州立大学	所在地	1801 E Cotati Ave, Rohnert Park, CA 94928, United States
最寄空港	San Francisco international airport	空港からの距離	60mil
空港⇄大学	(Sonoma county express bus ) *移動手段		
学生数	8,668	留学生数	10-20人
学部	Arts and humanities Business and economies education extended and international science and technology social sciences  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	American multicultural studies Art history Chicano and Latino studies Dance English Women's and gender studies  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① ( 8 )月～( 12 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後	1:00-2:50 Roman art	1:00-2:50 Gender and ethnicity	1:00-2:50 Roman art	1:00-2:50 Gender and ethnicity	1:00-4:40 Intro to Shakespeare

② ( 1 )月～( 5 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		10:00-11:50 Latino studies		10:00-11:50 Latino studies	
午後	12:00-12:50 Dance style (hip hop)	1:00-4:40 Gender in Asian America	12:00-12:50 Dance style (hip hop)  5:00-7:40 Global perspectives in dance		

### 3. 履修内容

科目	Gender and ethnicity		
履修期間	2022/8/22-2022/12/16	単位数	4
授業内容／形態	アメリカ社会におけるジェンダーと人種の関わりについて考える授業。 人種問題の歩みとそれに付随する女性人権問題を取り扱う。 セミナー		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目	エスニシティ論	
	単位数	2	
	担当教員	坪谷美欧子	

科目	Roman art		
履修期間	2022/8/22-2022/12/16	単位数	4
授業内容／形態	ローマ時代のアートについて順を追いながらその変化の過程を考察する。 レクチャー		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	現代美術論	
	単位数	2	
	担当教員	大絵晃世	

科目	Intro to Shakespeare		
履修期間	2022/8/22-2022/12/16	単位数	4
授業内容／形態	シェイクスピアの基本的な作品を取り扱い、彼の特徴的な表現、文学的表現に着目しつつ、シェイクスピアの魅力に迫る。 レクチャー・オンライン		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目	表象文化論	
	単位数	2	
	担当教員	岩崎徹	

科目	Dance style (hip hop)		
履修期間	2023/1/23-2023/5/19	単位数	1
授業内容／形態	Hip hop の基礎について、動きだけではなく、座学も含め学ぶ。 体育		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	健康スポーツ実習(春季スポーツ科目)(エアロビクスダンス)	
	単位数	1	
	担当教員	田中雅子	

科目	Global perspectives in dance		
履修期間	2023/1/23-2023/5/19	単位数	3
授業内容／形態	世界各国のダンスを取り扱い、世界の文化の中でのダンスの位置を学ぶ。 ダンスがどのように扱われどのような社会的意義、文化的意義をもつのか考える。 レクチャー・体育		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	スポーツ文化論	
	単位数	2	
	担当教員	岡田悠佑	

科目	Gender in Asian America		
履修期間	2023/1/23-2023/5/19	単位数	4
授業内容／形態	映画や小説、その他の文学やソーシャルメディア、ビジュアルアーツを通じたアメリカ社会でのアジア人の描かれ方について考える授業。特にアジア系アメリカ人女性の社会的偏見の形成のされ方、その変移について。 セミナー		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	メディア社会論	
	単位数	2	
	担当教員	角田隆一	

科目	Latino cultural studies		
履修期間	2023/1/23-2023/5/19	単位数	4
授業内容／形態	アメリカ社会における移民文化について考える。特にラティーノ系移民の歴史や移民に対して施された社会システムを分析し、現代社会に残る影響、それによって形成された文化・社会問題について考える。 セミナー		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目	社会文化論特講3 (エスニシティ文化論)	
	単位数	2	
	担当教員	坪谷美欧子	

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	KM	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	アメリカ合衆国
派遣大学	ソノマ州立大学		
期間	2022年 8月 16日～ 2023年 6月 12日		
プログラム	セメスター留学		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Roman art
講義内容	ローマ時代の絵画、彫刻、建築などのアートを時代別に取り扱い、時代ごとの違いの分析・比較を行いました。統治者や当時の統治区域により作品の雰囲気や特徴が大きく変わり、アートの特徴の変遷から時代の変化を感じることができました。
科目	Gender and ethnicity
講義内容	アメリカに住む BIPOC の人々の生活について、人種、性別、階級などの面から考え、インターセクショナリティについて学びました。問題そのものの課題や、問題を解決していく中での課題などに向き合いました。毎週の課題となるリーディングが経験に基づくものばかりで衝撃的なものやショックなものも多くありましたが、アメリカ社会の問題を教育、経済、社会システムなどの面から考えることができました。
科目	Intro to Shakespeare
講義内容	シェイクスピアの人物の描き方について、特に愛の視点から考えることができました。マクベス、ジュリアスシーザー、じゃじゃ馬娘、アントニーとクレオパトラ、12夜、リチャード 3 世を取り扱い、ヒロインと主人公の関係性や、その時代におけるシェイクスピアの描写の仕方の面白さを学びました。
科目	Dance style (hip hop)
講義内容	授業を通して学んだこと（授業内容）： 初心者から経験者までみんなで楽しくヒップホップについて学ぶことができました。ヒップホップの歴史、ジャンル、代表的な踊りに加え、ヒップホップの有名なグループやインディビジュアルについて調べる機会もありました。同じ動きでも日本語とはちがった説明になったり、表現方法になったりする場合が多く、これまで習ってきたことに固執していた自分がいたことに気付かされました。“コミュニケーション”としてのダンスを強く感じることでできる授業でした。
科目	Global perspectives in dance

講義内容	3週間に一回ほどゲスト講師を招いての授業がありました。Jazz, hip hop, メキシコの folklorico, ブラジルの capoeira, インドの舞踊、アフリカの舞踊を学びました。一見すると多種多様な踊りに見えますが、ベースとなる概念や考えに触れてみるとどのダンスも似たようなルーツを持っていたり、同じような目的のためにコミュニティで踊られていたりすることを知り、講義の意味での“ダンス”について考えるきっかけとなりました。最終課題では“I come from” と呼ばれる課題に取り組み、自分がどこからきたのか、何をしていた、何になりたいのかを、日本の伝統文化である折り紙、折り鶴を用いて表現しました。
科目	Gender in Asian America
講義内容	アメリカの移民史について、特に、アジアからの移民について知ることができました。ただの留学生としてアメリカで生活するのと、アジア系アメリカ人として生活することの違いを感じました。法的な整備などの措置によって生み出された不平等、戦争が原因で引き起こった難民・孤児の背景とその問題についてなど、幅広くアジアからの移民について学びました。授業ごとに課題となった小説、本から、アジア系アメリカ人のアイデンティティの確立方法や不平等、ステレオタイプと戦う姿勢、彼らの苦悩を知りました。また、映画などの映像作品を通して描かれるアジア系アメリカ人についても考え、特に誰によって作られ何を目的としているのかといった部分を重要視していました。それらのことから、現在も根強く残っている、アジア系に対するステレオタイプとそれらの形成、また残留について分析し、考えることができました。
科目	Latino cultural studies
講義内容	上記の授業と同様に、移民に対する政策や歴史的な歩みを見た上で、現在にどのような影響を残しているのか考えることができました。たとえ問題の元となった法律が終わりを迎えていても、未だに強く影響を残していて、負のサークルが出来上がっていることを知りました。また、生徒の意見や経験談を聞く機会も多く、日本では耳にしないような、差別や学校教育について学ぶことができました。メキシコ系の移民の多いカリフォルニアならではの授業だったと思います。課題となるリーディングが多く、苦労しました。学術的なものが多かったため、内容的に理解し、ディスカッションに参加するのが難しく感じました。経験談がないだけに、いつも日本との比較になってしまい、少し悔しかったです。

<総括>

(1) 全体的な感想

\*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私の留学の目的は自分自身の目でアメリカ文化を体験することでした。10ヶ月間の滞在を終えて、アメリカの文化のみならず、社会的価値観や歴史、アメリカ社会が直面する問題点など、自分が想像していたよりも多くのことに気づき学ぶことができたと考えています。渡米前はアメリカ社会に対し、比較的ポジティブな印象を抱いていました。人々の違いを認め、受け入れ合い、多くの人にチャンスと権利を与えている多様性に溢れた社会、アメリカンドリームが実現できる国だと思っていました。しかし、実際に留学してみて、人種が混ざり合うことは少なく、地域によって住み分けが行われていたり、特定の人種が不利になるような政策・施策が存在したりすることを知りショックを受けました。理想とのギャップに驚きましたが、アメリカ社会を形成する根底的な部分を知ったことで、その後の経験を違った視点で考え、感じ、学ぶことができました。また、人種概念や人種差別について、多くの人々が集まるアメリカだからこそ考えられる課題にもぶつかることができました。「アメリカ人」や「メキシコ人」といった枠を超えて、一人ひとりのアイデンティティに着目する大切さを知りました。個人の考えがしっかりしているといった点でアメリカの多様性・個人主義を強く感じました。また、英語を通して自分の意見を考えたり、感情を伝えたりすることを通して自分がこれまでどれだけ日本語に依存し、自分の考えが日本語の表現内に収まっていたのかを痛感しました。言語による表現・言い回し・言葉の違いがその人の思想や感情の形成に大きな影響を与えていることを学びました。初めのうちはその点で苦労することもありましたが、自分の感情を大切に使う英語を使い、独特な表現に慣れていくうちに、日本語を話している時よりも自分の感情や考えを深く考えている自分があることに気付かされ、これまで見えていなかった自分を知ることが出来ました。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学を通して獲得したこれまでとは違う視点を活かしていきたいです。具体的には、今後、人や問題と関わっていく中での対応力の幅が広がったのではないかと考えています。その人の特性や、考えに対し、自分のとるべき行動、発言を考えることができるようになったと考えています。それに加え、問題に対しても違った方向からのアプローチを考えられるようになりました。この2つの力を活かし、多くの人と協力する場面で一人一人の意見をまとめたり、話し合いに違った視点を持ち込んだりすることで、周りからの信頼の獲得につながるのではないかと考えています。

さらに、英語を用いることで、日本国外のさらに広い世界に通用できる力が身についたと思うので、その力を活かし、さまざまな国で活躍したいです。そうすることで上記のことにもさらに磨きがかかり、一段と人から頼りにされるような人物になることができるのではないかと期待しています。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学が決まる前から、理想を言えば、1年次からの計画的な履修です。自分の行きたい大学、留学先で取りたい科目が決まっていると尚良しです。単位互換の不安や、卒業判定の心配をしなくても良くなります。しかし、そこまで考えるのは現実的にはなかなか難しいと思うので、まずは1年生のうちにとれる単位を取っておくこと。自分が何を学びたいかの方針を決めることが重要だと思います。

また、それに付随して、明確なビジョンを留学前に形成することも重要です。留学によって価値観が変わることもあると思いますが、その時に自分の計画を柔軟に変更すればいいので、留学前にもしっかりとした将来の軸を決めておくことが肝心です。向こうの人は自分で自分のキャリアを切り開いていく感覚が強いので、明確なビジョンがなければ聞かれた時に答えられないです。また自分自身にとっても自分が自分の目標のどの段階にいるのかははっきりするので、留学中に不安を感じるものが少なく自分の向かっている道を着実に進めます。特に就活に関しては、どうするのか早いうちに決めておいたほうがいいです。